

S57-3D-Free (S-57 フォーマット 3次元ビューアー) バージョン 0.02 更新記録

2005/09/16

有限会社ジオ・コーチ・システムズ

<http://www.geocoach.co.jp/>

info@geocoach.co.jp

1. インストール説明書に GPS を追加しました。

バージョン 0.01 から GPS との通信を行うための設定を追加しました。

以下のファイルを Java 実行環境のフォルダに置いてください。

javax.comm.properties	C:\Program Files\Java\j2re1.4.2_07\lib
comm.jar	C:\Program Files\Java\j2re1.4.2_07\lib\ext

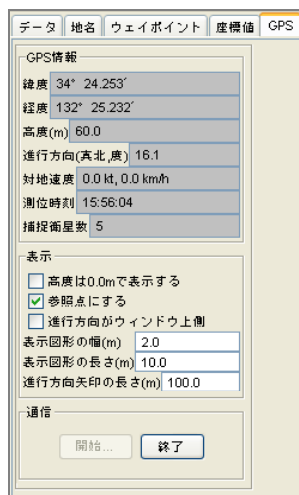
詳しくはインストール説明書を参照してください。

2. GPS から方向と速度取得

GPS からの方向と速度情報も表示するようにしました。

以下、操作説明書からの抜粋です。

パソコンと GPS をケーブルで接続し、GPS からの位置情報を表示します。また、3D パネルの参照点にすることができます。



【高度は0.0で表示する】 現在位置を示す点、参照点のZ値を、GPSからの高度に関係なく0.0とします。

【参照点にする】 現在位置を3Dパネルでの参照点にします。更新時間毎に更新します。

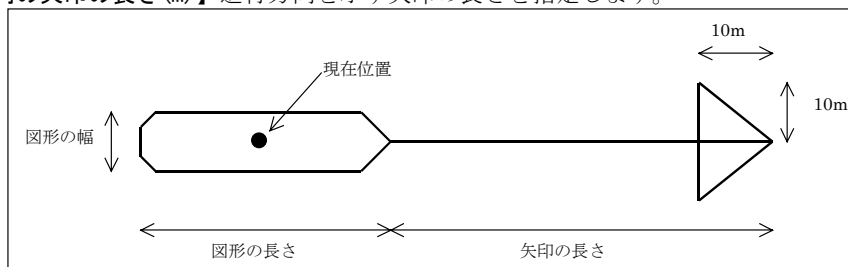
【進行方向がウィンドウ上側】 進行方向が常にウィンドウの上側になるよう地図を回転して表示します。

[参照点にする]がONの場合、有効です。

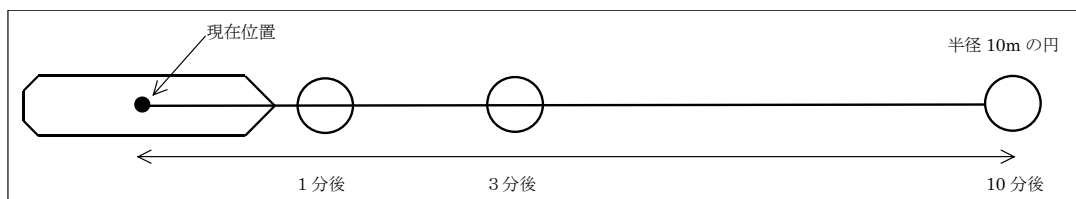
【表示図形の幅(m)】 現在位置を示す図形の幅を指定します。

【表示図形の長さ(m)】 現在位置を示す図形の長さを指定します。

【進行方向の矢印の長さ(m)】 進行方向を示す矢印の長さを指定します。



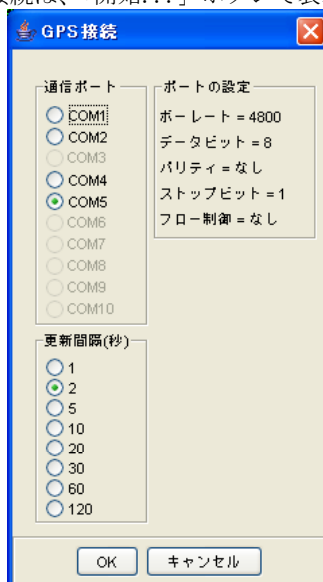
また、対地速度が0より大きい場合、1分後、3分後、10分後の位置を重ねて表示します。



【開始...】 GPS との通信を開始するダイアログを表示します。

【終了】 GPS との通信を終了します。

GPS との接続は、「開始...」 ボタンで表示するダイアログで行います。



【通信ポート】 GPS を接続しているシリアルポートを指定します。

【更新間隔(秒)】 GPS からの情報表示、参照点設定などの時間間隔を指定します。

GPS とパソコンの通信は RS232 のシリアルポートを使います。

ボーレート	4800
データビット	8
パリティ	なし
ストップビット	1
フロー制御	なし

GPS 側からの出力は NMEA を使用してください。

インターフェース	NMEA-0183 GPGGA、GPRMC センテンスを使用
----------	--------------------------------

現在、GARMIN 社製の GPS で動作確認しています。セットアップメニューでインターフェースを [NMEA] あるいは [NMEA In/NMEA Out] にしてください。

測地系は WGS84 です。

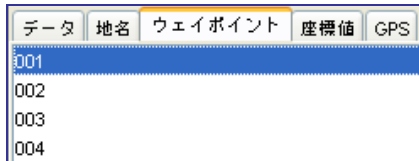
3. ウェイポイント表示

ウェイポイントファイル (POT, CSV) の点を表示する機能を追加しました。

[ファイル]メニューの[開く ウェイポイント]でウェイポイントを記録したファイルを開くことができます。

形式	
POT	@niftyFGPS で提唱された GPS データのファイル形式です。 ORD=POI の行について、tex, ido, kei, alt の値を参照します。
CSV	カシミール 3D から出力される CSV 形式です 1 列目: " W" で始まる 2 列目: 名称 3 列目: 緯度 (単位は度 dd. dddd) 4 列目: 経度 (単位は度 ddd. dddd) 5 列目: 標高 (単位はメートル)

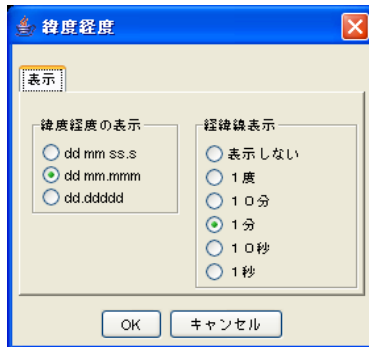
ウェイポイントの位置を赤い点で表示します。ウィンドウ左の[ウェイポイント]パネルに名称を表示します。



名称が選択されると、その位置を 3D パネル中央に表示します。

4. 経緯線表示

[表示]-[緯度経度]メニューで、経緯線の表示機能および緯度経度の表記指定機能を追加しました。



【緯度経度の表示】 参照点の位置表示や、選択された点の緯度経度表示の形式を指定します。

【経緯線表示】 経緯線の表示非表示および線の間隔を指定します。

経緯線は S-57 ファイルを囲む矩形内にのみ表示します。